

特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる 平成 25 年度事業報告

(平成 25 年 6 月 1 日～平成 26 年 5 月 31 日)

I. 年間の活動のまとめ

震災があった 23 年度から宮城県をはじめ、岩手、福島の前災 3 県には、復興予算の補助金があり、NPO もその恩恵を受けている。当法人も平成 24 年度は、新しい公共支援事業の補助金事業や組織基盤強化のための委託事業などにより、多くの資金が得られ、今、NPO にとって有益な活動と確信する事業が展開できた。その結果が、NPO の信頼性を確保するための NPO 法人会計基準の普及、及び情報発信のデータベース web サイト「みやぎ NPO ナビ」である。引き続き 25 年度は、それらの事業を継続しつつ、会計の人材育成と並行して会計のサポーターの派遣事業で直接支援に力を入れた。

また、登米市での NPO 支援組織の立ち上げを支援し、平成 25 年 3 月に NPO 法人が設立された実績を認められ、25 年 5 月に名取市から市民活動支援事業を委託されることになったのは新たな展開である。名取市にも 1 年をかけて、名取市に市民による中間支援組織を立ち上げる支援をし、26 年 3 月末、NPO 法人として設立された。これからは伴走型で支援する。

杜の伝言板ゆるるも NPO 法人となって 11 年が経過しているが、改めて NPO 支援組織として存続するには何が必要かを知らされた年であった。折しも NPO の組織基盤整備のためのワークショップを開催する依頼が入り、当法人も共催で取り組んだ。それは多くの NPO が悩んでいる組織継続のための方法を探るものだった。これまでの組織の在り方を見つめ、今ある課題の改善に向かって計画し、基盤を強化するためのプログラムである。このサポートを中間支援組織に求めているのだ。運よく内閣府の支援を受けた事業による中堅クラスの組織を再構築するための組織診断システムのノウハウを学び、当法人の自主事業として新規事業を立ち上げることができた。

一方、当法人の基盤事業である月刊杜の伝言板ゆるるの発行は、震災復興支援活動を伝える「復興への道」の特集を組み、25 年度も赤い羽根の中央共同募金会よりボラサポ支援金を受けて発行することができた。そして、26 年 1 月号をもって創刊 200 号を迎えたことは大きな喜びだった。

また、震災から 3 年に及ぶ「復興への道」に掲載した団体の中から、以前より活動していた団体が発災時どんな状況下であったか、震災後の活動の経緯などをまとめた冊子を発行できたことは、宮城の NPO 活動を記録として残せたと自負している。

1 年間を振り返り、大きな喜びは平成 26 年 1 月 22 日に念願の認定 NPO 法人になったことである。客観的に組織が評価され、当法人に寄附した人にとって税金が返る仕組みであり、組織にとっても課税対象の事業で得た収益を非営利の活動に使える「みなし寄附」が可能になる認定である。宮城県内では 8 番目の認定だった。認定 NPO 法人制度に沿って 5 年後に再申請することを考慮し、これから多くの市民から寄附が寄せられる組織をめざして活動していく所存である。

■平成 25 年度の重点目標に対する対応

1. NPO 法人会計基準の更なる普及により信頼性を高め、認定 NPO 法人を申請する団体が増えることを目指し、その申請の支援と各 NPO の情報発信や寄付を集める活動の支援に力を注ぐ。

宮城県の宮城県震災復興担い手 NPO 等支援事業により「NPO 法人会計基準及び認定 NPO 法人普及業務」を受託し、NPO 法人の会計処理における、より実践的な内容の講座とともに個別の相談会等を実施し、NPO 法人会計基準の普及促進を図った。2013 年 NPO 法人会計基準白書によると、基準に沿った会計報告をしている NPO 法人は、大きく増加している。特に宮城県の団体は、注記まで添付している準拠団体が多いという結果になった。

また、税制面での優遇措置のある認定 NPO 法人の取得に向けた講座等を実施したが、ワークショップ型の連続講座には、仙台での開催には想定した参加団体数に届いたが、予定していた大崎地域での開催は参加団体が少なく、普及型の講座及び個別相談会に変更した。直接の声かけに対しての反応は、認定 NPO 法人になることへのメリットに否定的な法人があったほか、申請の書類の複雑さに躊躇している法人も多かった。普及には時間がかかるが、今後も認定申請を支援していく。

2. 月刊杜の伝言板ゆるるが創刊から平成 26 年 1 月号で 200 号となることから、節目となる特集やイベントを実施し、より市民参画による情報誌となることを目指して市民ライターの育成にも着手する。

創刊 200 号の記念号に向けて、震災後、被災地で活動する団体を漫画で紹介し、評判になっている井上みどりさんのインタビューをして掲載した。創刊後初めてフルカラーで発行した。

記念催事は、2 月 1 日に開催し、井上みどりさんの講演に続き、紙媒体、web、ラジオで情報発信しているそれぞれの立場から、市民メディアの役割についてパネルトークをした。

また、目指していた市民ライター養成は実現しなかったが、被災地で情報発信している団体との連携が見えてきたことから今後の取り組みを検討する。

3. ゆるるの活動趣旨をさらに広く周知し、会員やボランティア、寄付者など、様々な関わりの賛同者の拡大を図り、更なる組織基盤強化を図る。

25 年 6 月に作成した法人パンフレット「緑の下の方たち」をフル活用し、団体の認知促進に努めた。また、26 年 1 月 22 日に認定 NPO 法人になったことから寄附と賛助会員の呼びかけをしているが、まだ不十分であることから理事及びスタッフ一丸となって力を入れる。

Ⅱ. 活動に関する事項

1. 情報収集と提供

(1) 月刊杜の伝言板ゆるるの発行事業

1997年6月に創刊した『月刊杜の伝言板ゆるる』は今年度で17年目を迎え、2014年1月には創刊200号発行も達成した。

仕様：A4判1色16頁

※2014年1月号は創刊200号記念のためA4判4色16頁で発行

発行部数：10,000部

配布先：約450か所

(県内公共施設・高等学校、一部仮設住宅、県外支援センター、他)

ページデザイン：齋藤奈緒美

協賛広告：東北労働金庫宮城県本部、かほく「108」クラブ

① 特集「復興への道」

昨年度に引き続き、中央共同募金会からの助成を受け、2014年4月号まで被災地で復興支援に取り組む地元の団体を取り上げる特集「復興への道」を掲載。発行部数も10,000部を継続し、県内全域の公共施設のみならず被災地の仮設団地集会所や県外の支援団体にも情報を発信し続けた。

仕様：A4判1色6頁（『月刊杜の伝言板ゆるる』の2～7頁）

【掲載内容】

	特 集
6月号	- 子どもたちと次のステージへ 認定NPO法人地球のステージ（名取） - 新たな拠点で『地域で暮らす』をサポート NPO法人泉里会（気仙沼） - 田も地域も蘇らせる伝統農法 NPO法人田んぼ（大崎） - 施設とともに新たな一歩を NPO法人みどり会（宮城野区） 「知ること」で広がる支援の輪 NPO法人宮城県断酒会（青葉区） トピックス NPOで高校生の夏ボラ体験2013
7月号	- 寄稿 女性防災リーダーの育成に取り組む NPO法人イコールネット仙台（青葉区） - 住民の生命を守る森づくり NPO法人海べの森をつくろう会（気仙沼） - いつもの活動が支援につながる NPO法人アイサポート仙台（若林区） - 生命の宝庫を取り戻す 蒲生を守る会（青葉区） - 一人で抱え込まないで 公益社団法人認知症のひとと家族の会宮城県支部（青葉区） - 人の心を感じることができる社会に 仙台傾聴の会（太白区）
8月号	- 女川に蘇る障がい者の働く場 NPO法人きらら女川（女川） - 福島も仙台も隔てなく子育てをサポート NPO法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク（青葉区） - 安心な高台に建つ新施設で再出発 NPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元（山元） - 世代を越えた交流の場に NPO法人まちの寄り合い所・うめばたけ（石巻） - 防災を非日常から日常に NPO法人防災・減災サポートセンター（黒川郡富谷町） トピックス NPOで高校生の夏ボラ体験2013～事前学習会開催報告～

9 月 号	・寄稿 未来へ向けた「まちづくり」とともに NPO 法人気仙沼まちづくりセンター（気仙沼） ・地域にこだわるラジオづくり NPO 法人エフエムなとり（名取） ・地域の魅力をまちづくりの柱に NPO 法人都市デザインワークス（青葉区） ・被災地の農業復興を目指して 一般社団法人 ReRoots（若林区） ・夏ボラ高校生が巻.com 人に NPO 法人いしのまき NPO センター（石巻） トピックス SAVE JAPAN プロジェクト 2013 干潟の小さな生き物たちに会いに行こう 蒲生干潟生き物観察会
10 月 号	・すべての若者に「学ぶ」「働く」を NPO 法人 Switch（宮城野区） ・アートでバリアフリー 一般財団法人アート・インクルージョン（青葉区） ・歌声を心に響かせて NPO 法人グッドニュースプロジェクト（黒川郡大衡村） ・男性も女性も、いきいき暮らし働ける場を 一般社団法人コミュニティスペースうみねこ（女川） ・共に時間を過ごすことが心の薬 NPO 法人時葉堂（泉区） トピックス 今年も NPO の信頼性を高めるための事業がスタートします！
11 月 号	・南三陸でおもてなし ようこそみなさん館へ NPO 法人夢未来南三陸（南三陸） ・地域での共生ケアを根付かせる NPO 法人お茶っこケア（石巻） ・寄稿 東北の資源に脚光を NPO 法人地・LOHAS 推進会議（青葉区） ・ゲームで学ぼう！ 地域の防災 市民協働による地域防災推進実行委員会（太白区） ・高齢化進む町の『みんなの足』 ふれあいの四季（山元） トピックス WAM 助成セミナー開催 助成金を活用して活動を広げよう！
12 月 号	・寄稿 復興支援のその先に見えてくるもの NPO 法人生活支援プロジェクト K（気仙沼） ・子どもは宇宙の宝 こども∞感ばにー（石巻） ・震災の記憶を後世へ NPO 法人みやぎ宅老連絡会（泉区） ・絵本で伝える防災知識 NPO 法人防災士会みやぎ（宮城野区） ・寄稿 大切な人を亡くした子どもに寄り添う NPO 法人子どもグリーフサポートステーション（青葉区） ・「健康食なのおいしい！」を実現 NPO 法人キューオーエル（青葉区）
1 月 号	創刊 200 号記念対談『私たちが伝えたいこと』 （対談者：井上きみどり氏（ノンフィクション漫画家・コラムニスト）、大久保朝江）
2 月 号	・子どもたちと希望の未来を！ NPO 法人底上げ（気仙沼） ・寄稿 復興とまちづくりと地域からいただいたもの 一般社団法人南三陸町推進ネットワーク（南三陸） ・神戸へ手向ける炎に願う石巻の未来 NPO 法人石巻スポーツ振興サポートセンター（石巻） ・継承～未来の子どもたちへ～ NPO 法人なりわい舎（東松島） ・女性たちの『声』を聴く NPO 法人ハーティ仙台（青葉区） ・山元町成分一〇〇%の搾りたてラジオ りんごラジオ（山元）
3 月 号	・寄稿 女性たちの活躍を応援しています NPO 法人ウィメンズアイ（登米） ・地元団体を隣人として支える NPO 法人応援のしっぽ（石巻） ・いのちと人権、分野を越えてつながる輪 みやぎいのちと人権リソースセンター（宮城野区） ・寄稿 すべての子どもに愛ある家庭を。 NPO 法人子どもの村東北（青葉区） ・顔の見える新聞—もう一度心をひとつに 関上復興だより（名取） トピックス 月刊ゆるる二〇〇号記念イベント開催報告
4 月 号	・寄稿 宮城の不登校児童生徒の現状 NPO 法人ミヤギユースセンター（宮城野区） ・遊ぶことは生きること 気仙沼あそびーばーの会（気仙沼） ・寄稿 「杜の子まつり」の三年間 NPO 法人せんだい杜の子ども劇場（泉区） ・糸と針がつむいだ楽しさと明日への元気 ACT53 仙台（宮城野区） ・学びあい、助けあい、パソコンを楽しむ ささえ愛シニアネット（山元）
5 月 号	・—復興への道— 三年間の成果とこれから… 【復興への道】 ・子どもたちのやる気をサポートする 非営利団体グランドラインズ（南三陸） 【復興への道】 ・移動はライフライン NPO 法人移動支援 Rera（石巻） 【復興への道】 ・難聴者へ情報の橋渡し NPO 法人パソコン要約筆記文字の都仙台（若林区） ・自分を好きになれる場所 認定 NPO 法人みやぎ発達障害サポートネット（青葉区） ・経験を生かして子育て応援 NPO 法人子育て応援団ひよこ（名取）

② 「みやぎ NPO プラザページ」

宮城県の NPO 支援拠点「みやぎ NPO プラザ」からの NPO 情報を掲載

仕様：A4 判 1 色 1 頁（『月刊杜の伝言板ゆるる』の 8 頁）

【掲載内容】

6 月号	あなたの寄付、NPO で活かしてみませんか？
7 月号	「初級者向け・IT なんでも相談」がスタートします！ ～NPO のための専門相談を活用して悩みを解決しましょう～
8 月号	あなたの「知りたい」に答えます 宮城県内の NPO の検索・情報サイト「みやぎ NPO ナビ」
9 月号	「NPO 夜学～もう一つの生き方と出会う～」開校!!
10 月号	生活困窮者の包括的な支援ネットワークの構築を目指して ～NPO 法人仙台夜まわりグループ～
11 月号	今年も会計サポーター派遣キャンペーンが実施されます この機会に NPO 法人会計基準に沿った会計に切り替えましょう！
12 月号	宮城県の若手リーダー達が語る NPO 活動
1 月号	◆新入居団体紹介◆ あなたの心に寄りそう ～NPO 法人仙台傾聴の会～
2 月号	NPO の書籍を販売します
3 月号	きっかけは NPO 夜学！ ～市民活動へのはじめの一歩～
4 月号	NPO のレストラン Café&Art Restaurant オリーブの風
5 月号	団体の活動をもっと身近に ～みやぎ NPO プラザ短期ショップ～

③ 「かほく 108 クラブ」 構成企業の紹介

2013 年 6 月号から「かほく 108 クラブ」と連携し、河北グループ 12 社の社会貢献活動を毎月 information ページ下欄で紹介した。

【掲載内容】

6 月号	かほく「108」クラブ通信 企業の社会貢献	12 月号	株式会社河北アドセンター
7 月号	河北新報社	1 月号	河北新報仙台東販売センター
8 月号	河北仙販	2 月号	河北新報輸送株式会社
9 月号	河北折込センター	3 月号	河北 TBC カルチャーセンター
10 月号	河北新報総合サービス	4 月号	三陸河北新報社
11 月号	河北新報印刷株式会社	5 月号	河北ランド

④ 「トピックス」

6 月号 NPO で高校生の夏ボラ体験 2013

8 月号 NPO で高校生の夏ボラ体験 2013～事前学習会開催報告～

9 月号 SAVE JAPAN プロジェクト 2013

干潟の小さな生き物たちに会いに行こう 蒲生干潟生き物観察会

10 月号 今年も NPO の信頼性を高めるための事業がスタートします！

11 月号 WAM 助成セミナー開催 助成金を活用して活動を広げよう！

3 月号 月刊ゆるる二〇〇号記念イベント開催報告

⑤ 「information」

助成金情報コーナーや各市民活動団体から寄せられるボランティア募集情報等を掲載
【掲載数】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
info	27	22	20	24	26	26	21	14	23	24	20	23	270
助成金	5	4	5	6	5	6	4	6	6	5	5	6	63

(2) 東日本大震災記録冊子を発行

震災後の2011年5月号から過去3年間掲載してきた「復興への道」の集大成として、東日本大震災記録冊子『3.11NPOの記録—あの時、宮城のNPOはどう動いたか—』を制作。それまでに「復興への道」で紹介してきた団体から、特に震災前から活動していた団体を49団体に絞り、震災直後の各団体のキーパーソンの動きを中心に追加取材や過去の記事を再編集した。また、当法人の発災直後からの動きと、法人10周年記念催事で発表した被災NPO寄付応援サイト「復興みやぎ」掲載団体からのもの加え、計50団体を紹介。

発行：2014年3月

東日本大震災記録冊子『3.11NPOの記録—あの時、宮城のNPOはどう動いたか—』

仕様：A4判4色128頁

発行部数：500部

2. 月刊杜の伝言板ゆるる創刊200号記念事業

みやぎのボランティア・市民活動情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」は、2014年1月号で創刊200号を迎えた。これを記念し、月刊杜の伝言板ゆるる創刊200号記念事業を実施した。

1997年6月の創刊時は1,000部の発行だった情報誌は、今や10,000部となり、県内外500か所で配布されている。これまで、ボランティアがしたい！NPOを応援したい！NPOを知りたい！という市民に多くの情報を提供し続けてきたことを振り返りながら、市民メディアとして、これからの「伝える」「伝えたい」ことについて市民とともに探った。

また、月刊杜の伝言板ゆるる発行にあたり、長い年月にわたり多大な貢献をいただいた方々へ感謝状を贈呈した。

日時：2014年2月1日（土）14:00～18:45

会場：みやぎNPOプラザ交流サロン（交流会は第1会議室）

参加者：83名

共催：宮城県（みやぎNPOプラザ）

後援：社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、河北新報社

基調講演「わたしが震災まんがを描いたわけ」

講師：井上きみどり氏（ノンフィクション漫画家・コラムニスト）

パネルトーク「市民メディアとしてのこだわり」

パネリスト：

佐藤和文氏（河北新報社デジタル戦略委員会シニアアドバイザー）

高橋厚氏（山元町臨時災害 FM 放送局「りんごラジオ」代表）

荒川陽子氏（地域生活支援オレンジねっと代表）

コーディネーター：

大久保朝江（特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる代表理事）

感謝状贈呈

株式会社小松写真印刷

有馬昭洋氏（ゆるるボランティア）

東北労働金庫宮城県本部

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会

かほく「108」クラブ

交流会 34 名参加

参加者とともに市民メディアについて語り交流を深めた。

取材関係 ・河北新報掲載

・宮城県復興応援ブログココロプレス掲載

・復興ボランティア支援センターやまがた

避難者向けフリーペーパー「うえるかむ」第 46 号

3. 人材育成事業

（1）NPOで高校生の夏ボラ体験 2013 プログラム

将来、地域の担い手となる若年層がNPOに出会うきっかけを作るため、2003 年から始めた「NPO で高校生の夏ボラ体験」プログラムは、今年度で 11 回目を迎えた。

今年度は 181 人の高校生から参加申込があり、103 人の高校生が県内 28 の受け入れ団体のもと、ボランティア体験を行った。78 人の高校生が体験できなかった理由は、マッチング不成立および直前のキャンセルによる。

また、ボランティア体験実施前には集合研修形式の「事前学習会」を実施し、高校生にNPO・ボランティアに対する理解を促すとともに、受け入れ団体と高校生の顔合わせを行った。今年度の事前学習会は大崎および仙台でのべ3回開催している。

さらに、高校生にはボランティア体験終了後、感想文を提出してもらい、その感想文を 1 冊の冊子にまとめて発行した。

共 催 かほく「108」クラブ

協 賛 河北新報社 12 社 東北労働金庫

後 援 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会 栗原市教育委員会 登米市教育委員会
大崎市教育委員会 石巻市教育委員会 利府町教育委員会 岩沼市教育委員会

大河原町教育委員会

事前学習会 7月13日（大崎）、14日、15日（仙台）

体験期間 7月23日～8月24日

受入団体 28団体（受け入れ希望団体数は30だったが、マッチング後のキャンセル発生のため、2団体受入なし）

体験者数 103名

参加高校数 20校

■「NPOで高校生の夏ボラ体験 2013 体験談集」を発行

体験談集仕様： A5判1色128頁 400部

配布先： 参加高校生、受け入れ団体、県内全高等学校など

（2）住友商事インターンシッププログラム

住友商事株式会社が東日本大震災の被災地で実施する「住友商事 東日本再生ユースチャレンジ・プログラム 2013」の「インターンシップ奨励プログラム」助成を受けて、当法人へ2名のインターンシップ生を受け入れ、育成を行った。

インターンシップ生： 東北大学学部生男女1名ずつ

受け入れ期間： 平成25年7月1日～平成26年3月31日

インターンシップ活動内容：

- ・「NPOで高校生の夏ボラ体験 2013」運営サポート
- ・「月刊杜の伝言板ゆるる」取材・執筆 など

（3）NPOの組織診断及び運営サポートの構築事業

平成24年度、「市民活動団体（NPO）育成・強化プロジェクト」で育成されたスタッフが、これまで培ってきた力を事業、運営の実施責任者として発揮し、事業面、組織面の双方から組織力を総合的に向上することが目的の助成事業。

日本NPOセンターとNPO法人ワールド・ビジョン・ジャパンが主催する「市民活動団体（NPO）育成・強化プロジェクト 組織力向上サポート助成事業」として平成26年6月末までの事業。

当法人は、組織運営に行き詰ったNPOの課題の抽出から解決策まで客観的にアドバイスをする支援力を身につけるために、課題抽出のための組織診断の手法を学び実践し、事業化する。育成しているスタッフは、5名。

アドバイザーは、組織診断ツールの開発者である、公益財団法人パブリックリソース財団専務理事・事務局長の岸本幸子氏に依頼。

① NPOの組織診断及び運営サポートの人材育成

i) 人材育成研修ステップⅠ NPO実践マネジメント講座（eラーニング）の受講

公益財団法人パブリックリソース財団が主催する「NPO実践マネジメント講座（eラーニング）」を受講した。この講座で、社会的課題の解決に取り組むNPOのマネジメント全般に関する基礎的な知識を学んだ。（11月～1月）

ii) 人材育成研修ステップⅡ、Ⅲ 組織診断の手法を学ぶ

組織診断の手法や診断結果の分析方法などを学ぶため、講師を招いて1日型の研修を実施した。

月日	研修名	講師
1月17日(金)	「組織診断の基礎および手法」	田口由紀絵氏 (公益財団法人パブリックリソース財団チーフプログラムオフィサー)
2月8日(土)	「SWOT分析」	田口由紀絵氏 (公益財団法人パブリックリソース財団チーフプログラムオフィサー)
2月23日(日)	「ファシリテーション」	佐藤聡氏 (人材開発トレーナー)
3月7日(金)	「調査・分析手法」	田口由紀絵氏 (公益財団法人パブリックリソース財団チーフプログラムオフィサー)
3月20日(木)	「問題解決のツボ」	大原直子氏 (株式会社 OneVision コンサルタント)

② NPOの組織診断及び運営サポート事業の構築

①の(i)(ii)で学んだことをもとに、県内のNPO法人、2団体の協力を得て組織診断を実践。組織診断シートの回答と、その結果に基づいたヒアリングなどを行い、約1ヶ月半をかけて組織診断書を作成。

また、診断にあたっては、公益財団法人パブリックリソース財団の岸本氏による直前研修にてヒアリングの準備及び診断資料の作成をしたほか、ヒアリングに同行し、詳細なアドバイスを受けた。

③ NPOの組織診断及び運営サポート事業の実施

組織診断の事業化のため、広報用のチラシを作成。

仕様：判型A4版両面2色刷り

印刷部数：10,000部

(4) 内閣府ノウハウ移転事業の移転先団体

NPOの信頼性向上に資するノウハウとして、パブリックリソース財団が開発して運用してきたNPO等の組織運営状況及び事業実施状況について評価(診断)するツール、社会的事業の成果評価指標の設定方法、及びそれらを活用してNPOを支援する方法を地域の中間支援団体に移転する事業。

以下のスケジュールで、在仙のNPO法人に組織診断のトライアル団体になることを依頼し、組織診断シートに基づく調査及びヒアリングを実施した。

研究会：9/18

事前研修：10/11 10/30 11/15

組織診断の実践：11月下旬～1月 課題の整理：1/29

公開セミナー：1/17

4. 会計支援等事業

(1) NPO 法人会計基準の普及事業

平成 24 年 4 月 1 日施行の改正特定非営利活動促進法により、現在、NPO 法人には NPO 法人会計基準に則した会計書類への変更対応が求められている。NPO 法人が社会の中で健全に発展していくため、その活動を伝える会計の信頼性を高めることは急務である。そこで、NPO 法人の会計強化を目的に、以下の通り事業を実施した。

① 会計専門家研修

宮城県内の仙台市、大崎市の 2 ヶ所の地域において、税理士・公認会計士を対象に、NPO 法人会計基準に関する専門研修を開催した。

開催日時：仙台会場 10 月 29 日（火）13：30～16：30

大崎会場 11 月 7 日（木）13：30～16：30

講師：成田 由加里（税理士・公認会計士）

参加人数：仙台会場 18 名（申込 20 名）、大崎会場 7 名（申込 8 名）

② NPO 法人向け NPO 法人会計基準講座-入門編

宮城県内の石巻市、大崎市、気仙沼市、栗原市、登米市、仙台市、亶理町、白石市の 8 ヶ所の地域において、NPO 法人会計基準の理解と、普及のため NPO 法人向け研修会を行った。

日時	開催地域	講師	参加団体数
11 月 18 日（月）	石巻市	成田 由加里	10 団体
11 月 21 日（木）	大崎市	成田 由加里	5 団体
1 月 28 日（火）	気仙沼市	平野 由紀子	6 団体
1 月 31 日（金）	栗原市	平野 由紀子	5 団体
2 月 12 日（水）	登米市	平野 由紀子	14 団体
2 月 14 日（金）	仙台市	成田 由加里	10 団体
2 月 19 日（水）	亶理町	成田 由加里	10 団体
2 月 28 日（金）	白石市	平野 由紀子	11 団体

③ NPO 法人向け NPO 法人会計基準講座-実践編

宮城県内の石巻市、大崎市、仙台市、亶理町の 4 ヶ所の地域において、NPO 法人会計基準に基づいた活動計算書と注記の作成や読み取りを体験するワークを実施した。

日時	開催地域	講師	参加団体数
11 月 18 日（月）	石巻市	成田 由加里	7 団体
11 月 21 日（木）	大崎市	成田 由加里	4 団体
2 月 14 日（金）	仙台市	成田 由加里	13 団体
2 月 19 日（水）	亶理町	成田 由加里	5 団体

④ NPO法人向けNPO法人会計基準講座-実務編

宮城県内の大崎市、仙台市の2ヶ所の地域において、NPO法人会計基準に基づいた財務諸表を作成するための基盤となる会計実務を学ぶ講座を実施した。

日時	開催地域	講師	参加団体数
12月3日(火)	大崎市	瀧谷 和隆	6 団体
2月18日(火)	仙台市	瀧谷 和隆	11 団体

⑤ 会計個別相談会

宮城県内の大崎市、気仙沼市、栗原市、登米市、白石市の5ヶ所の地域において、会計や税務の専門家を相談員に招き、個別相談を実施した。

日時	開催地域	講師	参加団体数
12月3日(火)	大崎市	瀧谷 和隆	2 団体
1月28日(火)	気仙沼市	平野 由紀子	2 団体
1月31日(金)	栗原市	平野 由紀子	3 団体
2月12日(水)	登米市	平野 由紀子	2 団体
2月28日(金)	白石市	平野 由紀子	3 団体

⑥ 会計サポーター養成講座

昨年に引き続き、企業会計・経理経験者から有償ボランティアを募り、NPOやNPO会計基準についての連続講座を受講してもらうことで、会計サポーターを養成した。

養成講座受講者数：11名

日時	講師	カリキュラム
10月18日(金)	なし	事前説明会
10月23日(水)	大久保 朝江	NPO、NPO法について
10月30日(水)	成田 由加里	NPO法人会計基準について①
10月31日(木)	成田 由加里	NPO法人会計基準について②、決算書の作成、監査について
11月6日(水)	なし	NPO法人決算書類実態検証(個人ワーク)
11月13日(水)	平野 由紀子	税務について、決算書事例のワーク
11月20日(水)	なし	NPO法人決算書類実態検証(個人ワーク)
12月4日(水)	成田 由加里	養成講座のまとめ

⑦ 会計サポーター定例会

昨年度養成した会計サポーター、今年度養成した会計サポーターがともに集まる場を定期的に設けた。実際に派遣時に生じた疑問・情報を共有し、さらに専門家にも出席してもらうことで、各事例についてのアドバイスも提供した。

日時	出席した専門家	参加者数
11 月 27 日 (水)	成田 由加里	6 名
12 月 18 日 (水)	平野 由紀子	11 名
1 月 22 日 (水)	成田 由加里	11 名
2 月 19 日 (火)	平野 由紀子	10 名
3 月 12 日 (水)	成田 由加里	12 名

⑧ 会計サポーター派遣

NPO 法人会計基準に準拠した会計書類作成のサポートをするため、県内の NPO 法人へ会計サポーターを派遣した。

派遣期間：11 月 20 日～3 月 27 日

派遣先：県内の NPO 法人 46 団体

派遣回数：合計 79 回

⑨ NPO 法人会計基準パンフレット改訂

昨年度作成した NPO 法人会計基準パンフレットをよりわかりやすいものにするため、一部改訂し新たに発行した。

タイトル：市民にとって分かりやすい NPO 法人の計算書類のつくり方

仕様：A4 判 4 色 6 頁三つ折見開き両面印刷 2,000 部

(2) 会計サポーター派遣事業

昨年度に養成した会計サポーターの協力を仰ぎ、平成 25 年 4 月から杜の伝言板ゆるるでは、自主事業としての会計サポーター派遣も実施している。宮城県からの委託業務で実施した会計サポーター派遣ではサポート内容を活動計算書の作成サポートに限っていたが、それ以外の日常会計業務などにおいても NPO からのニーズがあることから、本事業ではサポート内容を拡大している。

サポート内容：・会計やお金の管理

・仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス

・会計ソフトの導入支援

・活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート ほか

サポート料金：派遣 1 回あたり 3 時間まで 4,500 円、以降 1 時間延長ごとに 1,500 円

サポーターの交通費は依頼 NPO から別途実費支払

【平成 25 年度実績】

派遣団体数：8 団体

派遣回数：8 回

派遣サポーター：6 名

サポート内容：活動計算書・注記の記入方法について、残高照合、減価償却費の考え方についてなど

(3) 会計ソフト説明会

NPO 法人が日常の会計処理へ費やす時間を短縮させられるよう、またより簡単に NPO 法人会計基準に基づいた会計書類を作成できるよう、ソリマチ株式会社と連携し NPO 法人向け会計ソフト「会計王 15 NPO 法人スタイル」の機能を紹介する説明会を大崎・仙台の 2 ヶ所で開催した。

日時	開催地域	講師	参加団体数
12 月 3 日 (火)	大崎市	ソリマチ社員	6 団体
2 月 18 日 (火)	仙台市	ソリマチ社員	6 団体

5. 認定 NPO 法人の申請支援事業

平成 24 年の NPO 法改正により、従来よりも認定 NPO 法人を取得する要件が緩和されている。この認定 NPO 法人制度を利用すると、寄付者に税制優遇が与えられるなど、NPO 法人は資金の獲得がしやすくなる。現在活動している NPO 法人が今後も安定して活動を継続できるよう、杜の伝言板ゆるるは昨年度に引き続いて認定 NPO 法人制度の普及および県内の認定 NPO 法人の増加を促進させるため、以下の事業を行った。

(1) 認定 NPO 法人制度を知る講座

宮城県内の多くの NPO 法人が認定 NPO 法人制度を活用できるよう、制度の概要を学ぶ講座を開催した。

日時	開催地域	講師	参加団体数
10 月 30 日 (水)	大崎市	脇坂 誠也	6 団体
10 月 31 日 (木)	仙台市	脇坂 誠也	8 団体
11 月 22 日 (金)	大河原町	大久保 朝江	8 団体
11 月 27 日 (水)	石巻市	脇坂 誠也	5 団体
1 月 27 日 (月)	気仙沼市	大久保 朝江	5 団体

(2) 認定 NPO 法人申請実践講座

より現実的に認定 NPO 法人取得申請を考えている NPO 法人のために、実際に申請書類を作成する連続講座を開催した。

日時	内容	講師	参加団体数
11 月 14 日 (木)	申請書類概要編	大久保 朝江	8 団体
12 月 12 日 (木)	寄付金編	脇坂 誠也	10 団体
1 月 22 日 (水)	組織運営編	大久保 朝江	8 団体
2 月 5 日 (水)	認定基準編	甲山 知苗	7 団体
2 月 20 日 (木)	申請書の確認と質疑編	矢崎 芽生	8 団体

(3) 認定 NPO 法人申請相談会

①②の講座受講団体を中心に、認定 NPO 法人取得申請をするにあたっての悩みや不明点を解消するための個別相談会を開催した。

日時	開催地域	相談員	参加団体数
10 月 30 日 (水)	大崎市	脇坂 誠也	1 団体
10 月 31 日 (木)	仙台市	脇坂 誠也	3 団体
11 月 27 日 (水)	石巻市	脇坂 誠也	2 団体
1 月 24 日 (金)	仙台市	板倉 幸子	1 団体
1 月 28 日 (火)	気仙沼市	大久保 朝江	1 団体
2 月 18 日 (火)	仙台市	脇坂 誠也	3 団体

(4) 認定 NPO 法人取得を目指す運営相談会

すぐに認定 NPO 法人取得申請をするわけではないが、将来的に認定 NPO 法人化を考えている NPO 法人・市民活動団体を対象に、認定 NPO 法人取得申請も見据えた日常の運営相談を行った。

日時	開催地域	相談員	参加団体数
2 月 25 日 (火)	柴田町	大久保 朝江	2 団体
3 月 5 日 (水)	石巻市	大久保 朝江	3 団体

6. 組織診断・コンサルティング事業

杜の伝言板ゆるるでは、今年度から新たな事業として組織診断・コンサルティング事業を開始した。内閣府のノウハウ移転事業により、(公財)パブリックリソース財団からの組織診断プログラムの手法を学び、自主事業として開始。

平成 26 年 1 月から仙台市内の NPO 法人からの依頼により、1 年間の契約により、組織診断及び事業計画作成のアドバイザーを担っている。

7. 調査研究および資料等の発行

(1) 平成 25 年度宮城県 NPO 活動実績・意向調査事業

宮城県では平成 15 年度以降、5 年度ごとに県内の NPO・市民活動団体の活動実績および意向に関する調査を実施しており、今年度がその実施年度にあたった。当法人は宮城県から今年度の調査事業を委託され、仙台市、東北大学大学院高浦康有ゼミ、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センターと合同で調査の実施、調査結果を踏まえての NPO 支援施策提案を行った。

① 調査方法および実施について

本調査は、下記要領にて実施した。

調査対象	宮城県に事務所を置く N P O（特定非営利活動法人、任意の市民活動団体、一部公益法人並びに社団法人等）
抽出方法	宮城県内に事務所を置く全ての特定非営利活動法人、みやぎ N P O ナビ掲載の任意団体、東日本大震災以降月刊杜の伝言板ゆるるで活動を紹介もしくは杜の伝言板ゆるるが物資支援を行った一般社団法人を抽出して調査対象団体リストを作成
調査項目	1. 団体の概要について 2. 東日本大震災関連の事業について 3. 団体が抱えている課題について 4. 協働について 5. N P O 支援施設について 6. 会計基準、N P O 認証、認定（仮認定）N P O 法人制度について
調査方法	対象団体に郵送で調査への協力を依頼し、原則として調査専用 W E B ページにアクセスし、W E B 画面に直接入力するか、調査票に記入し郵送で送るかの方法で回答を得た
調査期間	平成 25 年 12 月 1 日時点の状況について、平成 26 年 1 月 31 日までに回答を依頼

② 回答回収結果について

本調査で調査票への回答を依頼した団体数は 1072 団体だったが、有効依頼数は住所不明などの理由により依頼書が返送された 39 団体を除いた 1035 団体であった。実際に調査票への回答を行ったのはそのうち 501 団体であり、回収率は 48.4%だった。

③ 調査結果の集計・分析について

回収した調査結果について、どのような集計・分析を行うか、関係団体間で検討会を実施した。

関係団体： 東北大学大学院経済学研究科高浦康有ゼミ
 宮城県環境生活部共同参画社会推進課
 仙台市市民局市民協働推進部市民協働推進課
 N P O 法人せんだい・みやぎ N P O センター
 N P O 法人杜の伝言板ゆるる

※第 3 回検討会には現地団体として、N P O 法人おおさき地域創造研究会、N P O 法人気仙沼まちづくりセンター、一般社団法人みらいサポート石巻にも参加してもらい、今後の N P O 支援施策についてのヒアリングを行った。

	日時	内容
第 1 回検討会	2 月 6 日（木）	調査の単純集計結果からクロス集計項目を検討
第 2 回検討会	3 月 7 日（金）	クロス集計結果の分析と追加項目の検討
第 3 回検討会	3 月 20 日（木）	集計結果の分析と今後の N P O 支援事業について検討

④ N P O 支援施策提案

調査結果の分析、およびヒアリングから、宮城県へ以下の N P O 支援事業を提案した。

【提案内容】

1. 実務者の人材育成講座
 - (1) 会計講座
 - ①NPO 法人会計基準普及講座
 - ②会計処理実践講座
 - (2) ボランティアコーディネーター研修
 - (3) 信頼を得るための情報開示・発信セミナー
2. 実務支援のサポーター派遣
 - (1) 会計アドバイザー
 - (2) 認定 NPO 法人申請アドバイザー
3. 組織の現状分析および改善に向けてのハンズオン支援事業
 - (1) 組織診断・分析のグループ・ワークショップ
 - (2) 団体への個別アドバイス・コンサルタント支援
4. NPO リーダー塾
5. 寄付者と NPO の出会いの機会創出

8. 拠点運営支援事業

(1) 宮城県民間非営利活動プラザの管理運営

平成17年4月から指定管理者として運営している、宮城県内のNPO活動を総合的に推進するための中核機能拠点「みやぎNPOプラザ」は、平成23年4月から5年間（3期目）の指定管理者に決定し、継続して管理運営を担っている。

平成25年度は、新しい公共の担い手としてNPOの信頼性を高めるために、団体の情報公開を促進するための支援や、次世代のNPO・市民活動の担い手創出に関する取り組みや、組織基盤の強化に結び付く事業展開を進めた。

※みやぎNPOプラザの事業年度に合わせ、平成25年4月～平成26年3月の状況を記載。

① 施設管理

i) 施設利用状況

年間の利用者は、前年度より2,089名増えている。1ヶ月平均の利用者は4,310名で、前年度1ヶ月平均の4,136名より174名増だった。

※H25.4.1～H26.3.31

	施設見学	ヒアリング	交流サロン	電話問合せ	情報収集・提供	案内・問合せ	会議室申込		閲覧・縦覧等	会議室使用	NPO相談	パソコン利用	作業室	チラシ等依頼	事務ブース利用	ショップ利用	レストラン利用	計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	電話	来館	人数	人数	人数	人数	人数	件数	人数	人数	人数	人数
合計	76	0	8,451	1,970	2,140	515	367	743	28	14,398	289	1,830	2,452	1,770	3,184	2,559	10,957	51,729
前年累計	111	1	8,057	2,042	1,866	505	353	843	35	14,896	341	1,526	2,701	1,778	3,327	1,509	9,744	49,635

※NPO相談には専門相談を含む

ii)会議室利用状況

※H25.4.1～H26.3.31

	第1会議室			第2会議室(全面)			第2会議室(分割)			第3会議室			研修室			合計		
	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間	件数	人数	時間
合計	307	5,364	1,270	226	4,747	913	138	971	379	167	1,198	448	276	2,118	946	1,114	14,398	3,956
前年累計	286	5,438	1,127	219	4,704	843	103	689	262	177	1,284	504	314	2,781	996	1,099	14,896	3,732

iii)コピー機、印刷機使用状況

※H25.4.1～H26.3.31

	コピー機				印刷機				
	モノクロ (枚)	カラー (枚)	合計 (枚)	トナー (本)	利用件数 (件)	製版数 (枚)	印刷枚数 (枚)	インク (本)	マスター (本)
合計	16,205	1,363	17,568	6	1,206	6,622	1,794,712	116	27
前年累計	18,577	1,155	19,732	1	1,149	6,371	1,583,241	101	29

iv)事務ブース・常設ショップ・レストラン使用団体への支援

事務室や常設ショップ、レストランの利用団体が入居期間中に力をつけていけるよう、施設の使用報告書や利用者懇談会等で活動状況を把握し、課題解決のアドバイスをしたほか、専門相談や講座参加につなげた。

v)施設見学および運営ヒアリング

施設見学は12件(NPO4件、行政2件、学校関係4件、一般市民2件)、76名に対応し、みやぎNPOプラザの機能を紹介した。

vi)事務室等施設使用団体選考審査会

今年度は平成25年9月、平成26年2月の2回、事務室、常設ショップ使用団体を公募し、選考審査会において決定した。

②インターネット情報サイト(みやぎNPO情報ネット)運用業務

NPOが主催するイベントやボランティア・有給スタッフ募集情報、NPOに対する助成金情報等の収集と掲載に力を入れた。みやぎNPOプラザ開催の講座や無料専門相談等のページ、短期ショップの出店情報も随時作成更新し、タイムリーな情報発信に努めた。

i)みやぎNPO情報ネット更新件数(H25:2013.4.1～2014.3.31)

	訪問者数	ページビュー数	数トップページアクセス	新規データアップ				情報の変更・取り下げ	TOP変更・更新	企画事業	相談	団体検索登録	宮城県推進班	国・宮城県・市町村	その他更新	合計	管理日数	バックアップ回数
				ゆるる提供	情報ネット	プラザ窓口	助成金											
H25年度累計	300,367	1,018,929	88,513	298	367	699	342	2,285	289	215	38	7	9	29	544	4,994	278	60
H24年度累計	286,054	999,454	80,218	399	266	711	311	2,521	272	234	40	10	12	45	577	5,419	291	60

ii) みやぎ NPO 情報ネットメールマガジン (H25 : 2013.4.1～2014.3.31)

	NPO支援情報 (トピックス)	NPOプラザ からのお知らせ	助成金情報	NPO法人 認証情報	その他	合計
H25年度累計	91	84	95	70	0	340
H24年度累計	77	76	126	77	0	356

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H25年度累計	前年度までの累計
新規登録	12	14	7	6	5	6	17	11	4	5	3	5	95	611
登録解除	3	1	0	3	0	2	0	0	1	2	1	1	14	45

総登録者数 647 名

iii) みやぎ NPO プラザブログ～おむすび日記～

	新規エントリー数							合計
	情報チーム 日誌	NPOプラザの 近況	全館イベント	50歳からの NPO実践塾	NPO夜学	助成金情報	NPO法人 認証情報	
H25年度累計	15	88	16	7	7	14	17	164
H24年度累計	6	106	11	21	0	2	10	156

③ みやぎ NPO プラザの情報誌編集・発行業務

i) One to One 発行

- ・発行日：年 6 回 奇数月(7・9・11・1・3・5月)の1日
- ・発行部数：3,000 部
- ・仕様：A3 判 2 ツ折り カラー1 色印刷

ii) 月刊杜の伝言板ゆるる プラザページ

- ・発行日：毎月 1 日
- ・発行部数：10,000 部
- ・仕様：A4 判 1 ページ カラー1 色印刷

※主な配布先：県内各市町村(42 箇所)、県地方振興事務所(7 箇所)、県内 NPO 支援施設(12 施設)、プラザ運営評議委員、仙台市内の公共施設(7 施設)、仙台市市民センター、県外の NPO 支援施設・団体(15 ヶ所)など

④ NPO の促進・団体の育成等に関する相談業務

i) 専門相談

専門相談として、館長による法人設立・団体運営相談を毎週水曜日に開催したほか、税理士や公認会計士による会計税務相談を毎月、社会保険労務士による雇用なんでも相談を 4 月と 2 月、中小企業診断士による経営相談を 6 月と 10 月、その他、IT なんでも相談を 8 月、法律相談を 12 月に相談日を設けて開催し、合計 92 件の相談に対応した。

	H25年度	H24年度
会計・税務	26	36
雇用なんでも	5	8
経営	4	5
法人設立・団体運営	53	65
ITなんでも	3	
法律	1	
合計	92	114

ii)窓口相談

窓口や電話での相談には、スタッフが対応した。平成25年4月～平成26年3月の間に、合計158件対応。団体立上げの方法や、団体運営に関する相談が多かった。また、日常的な会計処理について、定款変更に関する相談にも対応した。専門性が高いものは専門相談につなぐなどし、正確な情報を伝えるように心がけた。

⑤ NPO の促進・団体の育成等に関する研修業務

i)NPO 運営のためのマネジメント講座

NPOの運営一般、人材育成に関する「NPOマネジメント講座」を、みやぎNPOプラザで6講座開催した。

	講座名	講師	日時(会場)	参加者数
1	記者が明かすマスコミの使い方10カ条 ～伝わる取材依頼を書こう！～	大泉 大介 氏 河北新報社記者	2013/9/11(水)13:30～15:30	22
2	NPOが融資を受けるためには	鎌田 彰氏、小針 哲男氏 日本政策金融公庫	2013/10/25(金)14:00～16:00	20
3	疑問を解決！NPO法人設立講座	大久保朝江 (特活)杜の伝言板ゆるる代表理事	2013/11/20(水)14:00～18:00	17
4	もうお済みですか？ NPO法人のための定款変更講座	大久保朝江 (特活)杜の伝言板ゆるる代表理事	2014/1/31(金)13:30～15:30	21
5	NPO労務管理基礎講座 ～労働保険・社会保険の手続きと労務管理～	猪狩 慎一 氏 社会保険労務士	2014/2/7(金)13:30～15:30	12
6	万全の準備で迎えよう！ NPOのための総会運営講座	大久保朝江 (特活)杜の伝言板ゆるる代表理事	2014/3/26(水)14:00～16:00	13

参加者合計 105
平均 17.5

ii)NPO の会計・税務・決算等の講座

NPOの会計・税務に関する「NPOのための会計税務講座」を、みやぎNPOプラザで6講座開催した。

	講座名	講師名	日時(会場)	参加者数
1	NPO法人の決算書作成講座	成田由加里氏 公認会計士・税理士	2013/4/18(木)13:00～16:00	23
2	不安を解消！ NPO法人のための会計初級講座	平野由紀子氏 税理士・東北税理士会仙台北支部 所属	2013/6/7(金)13:30～16:30	23
3	正しく理解！お金の管理の仕組み	成田由加里氏 公認会計士・税理士	2013/9/18(水)13:30～16:30	18
4	NPOのための税金初級講座	平野由紀子氏 税理士・東北税理士会仙台北支部 所属	2013/11/27(水)13:30～16:30	23
5	知って安心！NPOのための法人税講座	平野由紀子氏 税理士・東北税理士会仙台北支部 所属	2014/1/24(金)13:30～16:30	18
6	悩みスッキリ！ NPO法人の会計監査のポイント	橋本潤子氏 公認会計士/(特活)せんだい杜の子ども劇場理事	2014/3/19(水)13:30～16:30	13

参加者合計 118
平均 19.7

iii) 出前講座

県域のNPOの基盤整備を支援するため、年3回開催。NPOの運営に役立つ講座や情報交換などを行った。この講座は、指定管理協定書の事業仕様書にはない、指定管理者の提案事業である。

	講座名	講師	日時・会場	参加者数
1	活動が伝わる印刷物デザイン講座 in わたり	真山 正太 氏 一般財団法人メディアデザイン 理事	2013/10/30(水)14:00~16:00	20
2	活動が伝わる印刷物デザイン講座 in けんぼく	真山 正太 氏 一般財団法人メディアデザイン 理事	2013/12/7(土)13:30~15:30	22
3	達人に聞く！ NPOのためのITを活用した情報発信セミナー in けんぼく	山田 泰久 氏 日本財団CANPANマネージャー、日本ソーシャルプロ ログ協会会長	2014/2/13(木)10:30~12:30	13

参加者合計 55
平均 18.3

⑥ NPO に関する行政職員の理解促進事業

行政職員を対象に、NPOを取り巻く環境や基礎的な理解を深めるため年1回開催している。市町村担当課との情報交換の場ともなっている。

	講座名	講師	日時(会場)	参加者数
1	行政職員のためのNPO理解講座	大久保朝江 (特活)杜の伝言板ゆるる代表理事	2013/5/21(火)14:00~16:00	26

⑦ NPO 支援施設および中間支援組織の育成支援事業

宮城県内のNPO支援施設で働くスタッフや民間NPO支援組織のスタッフを対象に、緩やかなネットワークを構築して、NPO支援に必要なスキルを学び、情報交換や共有をすることで、宮城のNPO支援力を高める機会を提供した。

i) NPO 支援センター研修

	講座名	講師	日時など	参加者数
1	東北NPO支援センター 初任者スタッフ研修・ リーダー情報交換会	三澤章氏 (NPO法人あおもりNPOサポートセンター事務局長) 紅邑晶子氏 (NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター代表理事) 小川真美氏 (NPOせんだい・みやぎNPOセンター事務局次長) 大久保朝江 (NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)	2013/6/24 (月) ~6/25 (火)	39
2	相談業務に活かす！ 認定NPO法人制度と申請手続き	稲垣 英明 氏 内閣府政策統括官 (経済社会システム担当) 付 参事官 (市民活動促進担当) 付 参事官補佐	2013/12/3 (火) 14:30~17:00	15
3	めざせ！助成金申請アドバイザー	山田 泰久 氏 日本財団CANPANマネージャー、日本ソーシャルプロ ログ協会会長	2014/2/13 (木) 15:00~17:00	21

参加者合計 75
平均 25

ii) NPO 支援組織の育成支援

県内のNPO支援施設及びNPO支援組織との協働により、各県域での情報交換の機会を創出するほか、地域との連携を通して県内のNPOの基盤整備に貢献していくことを目的にNPO支援連携事業を展開した。

- ・名取市市民活動支援センターへの広報及び掲示についてのアドバイスや相談会にスタッフを派遣した。
- ・とめ市民活動プラザに対して、会計処理のアドバイスや相談会に協力した。
- ・大崎市市民活動サポートセンター主催の「第8回・おおさき市民活動のつどい」に参加。大崎市で活動する団体と交流を深め、情報交換の機会とした。

⑧ みやぎ NPO プラザ NPO フォーラム

NPOが地域のさまざまな課題の解決に向けて活発に活動し、よりよい市民社会を構築できるように、出会いや学びの機会をつくるとともに、活動の担い手や支援者を増やすため、市民のNPO理解促進と、市民とNPOの交流の場を提供することを目的に開催した。

i) 事業概要

タイトル	知って、つながる！みやぎNPOフォーラム2013
対 象	市民および県内のNPO、市民活動団体
開催日時	平成25年11月16日（土）10:00～16:30
会 場	みやぎNPOプラザ全館
参加者数	・「NPOのための話し方セミナー」13名
	・パネルディスカッション 20名
	・交流会 29名（スタッフ含む）
	・ショップ 述べ101名
	・みやぎNPOひろば のべ40名
	計 212名
主 催	宮城県（みやぎNPOプラザ）
企画・実施	NPO法人杜の伝言板ゆるる

ii) 交流サロン

タイトル	活動をより印象的にアピール！NPOのための話し方セミナー
内 容	助成金の審査などだけではなく、寄付集めや会員募集、支援者を募る際、NPOには、自分の団体の活動内容や、なぜその活動が社会に必要で、またどのような支援や資金が必要かを求める対象者へ伝える必要がある。その際、どんな話し方をするかで、説得力のある伝え方ができるかを実技で学ぶ。
	■講師 赤間 裕子さん（ヴォイス&トーク 代表）
時 間	10:00～12:00
参加者数	13名
タイトル	【パネルディスカッション】『みやぎの若手NPOリーダーに聞く！』
内 容	全国的に、NPO法人の代表の平均年齢は、60代以上と言われているなか、宮城県各地域で活躍する30代・40代の若手NPOリーダー3名をパネリストに招き、NPO・市民活動との出会いから、団体を立ち上げるきっかけ、現在の活動状況、今後の運営に関する課題や展望などを語る
	■パネラー（50音順）
	齋藤勇介さん（NPO法人子育て応援団ひよこ 理事長）

	遠藤一恵さん（NPO法人パソコンママネット 理事長）
	千葉和義さん（NPO法人Azuma-re 代表理事）
	■コーディネーター
	大久保朝江（NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事、みやぎNPOプラザ館長）
時 間	13:00～15:00
参加者数	23名
タイトル	交流会
内 容	参加者同士の交流を広げ、NPOへの理解を深め、未来について語り合いましょう！
時 間	15:30～16:30頃
参加者数	29名

iii)会議室（4室）みやぎのNPOひろば

過去にみやぎNPOプラザに入居していたことがあるNPO、普段みやぎNPOプラザを利用しているNPOに第1、第2、第3会議室、および研修室を貸し出し、それぞれのNPOの活動アピールの場としてもらった。

iv)NPOのお店コーナー

過去にみやぎNPOプラザに入居していたことがあるNPO、普段みやぎNPOプラザを利用しているNPOにショップスペースを貸し出し、それぞれのNPOの活動から生まれた制作物の販売をしてもらった。

⑨ NPO 法人設立認証・認定に関する情報交換会

平成24年4月の改正NPO法の施行後、法人設立や報告、定款変更、また認定NPO法人申請などの相談対応状況などの現状と課題を共有し事業企画や相談業務に活かすため、宮城県や仙台市の担当課職員および仙台市市民活動サポートセンター、みやぎNPOプラザ等の職員で情報交換を行った。

開催日：8/27（火）、10/31（木）、12/3（火）

⑩ ボランティア育成事業

i) 50歳からのNPO実践塾 第14期

シニア世代のNPO活動への参加促進のために連続講座として開催し、NPOの立ち上げや、NPOの継続活動の実践につなぐために実施。参加対象は「団塊の世代」を中心とした50代以降の年齢層。塾長はみやぎNPOプラザ館長 大久保朝江が務めた。第1～14期の卒塾生は、152名になった。

期間			塾生数
2013/6/22(土)～8/24(土)6回連続講座			9名
	日付	時間	プログラム
第1回	6月22日	14:00～16:30	顔合わせ&NPOの基礎
第2回	6月29日	14:00～16:30	ワークショップ「キャリアの棚卸」
第3回	7月13日	14:00～16:30	実践者から聞く
第4回	7月27日	14:00～16:30	NPO立上プランニング・ワークショップ
第5回	8月10日	14:00～16:30	NPO活動プラン発表会①
第6回	8月24日	14:00～16:30	NPO活動プラン発表会②&修了式

ii) NPO夜学～もうひとつの生き方に出会う～

20～40代を中心とした働く世代（および学生層）を対象に、NPO・市民活動を基礎から学び、ゆくゆくは市民活動団体を立ち上げ、活動する人材、もしくは、既存のNPOに自分のスキルを提供できる人材を育成する

	テーマ	ゲスト・講師	日時(会場)	参加者数
1	NPOとボランティア	みやぎNPOプラザ 館長 大久保 朝江	平成25年10月16日（水） 19：00～21：00	21
2	NPOを立ち上げる	NPO法人World Open Heart 理事長 阿部 恭子さん	平成25年11月6日（水） 19：00～21：00	17
3	働きながらNPO	NPO法人ハーベスト 常務理事 山崎 賢治さん	平成25年12月7日（土） 16：30～18：30	11
4	一緒に活動する仲間を見つける	NPO法人アフタースクールばるけ 代表理事 谷津 尚美さん	平成26年1月29日（水） 19：00～21：00	21
5	NPOと出会う！N活！（エヌカツ！）	NPO法人アマニ・ヤ・アフリカ NPO法人パソコン要約筆記 文字の都仙台 NPO法人蔵王のブナと水を守る会	平成26年2月22日（土） 16：30～18：30	15

参加者合計 85
平均 17

⑪ みやぎ NPO プラザ運営評議会の開催

宮城県民間非営利活動プラザ運営評議会設置要綱に基づき、年2回開催。

- ・第1回：5月29日（水）13：30～15：30
- ・第2回：1月24日（金）10：00～12：00

⑫ その他、施設の設置目的を達成するための企画業務

i)利用者懇談会の開催

みやぎNPOプラザのよりよい活用を検討するため、日頃から使用している団体との意見交換および利用団体間の情報交換の場として開催。

日 時	9月26日（木）18：30～20：00
参加者数	利用者17名（13団体）、プラザスタッフ4名 合計21名
内 容	各団体の活動状況、情報交換、プラザの事業紹介 など
日 時	2月26日（水）14：00～15：30
参加者数	18名（事務室等使用団体11団体15名、プラザ3名）
内 容	事務室、ショップ、レストラン使用団体を対象に開催。団体の活動状況や、抱える課題、その対応策などについて情報交換

ii) NPO の書籍販売代行

NPOの情報を広く伝えるため、NPOが発行した書籍等の販売を代行した。受託団体は指定管理者を含む9団体。書籍の種類は14種類で、75冊販売した。

(2) 名取市市民活動支援基盤整備事業（名取市から委託）

この事業は、市民による自主的なまちづくり活動を活性化するため、地域の市民活動やコミュニティ活動を支援していく基盤となるNPO中間支援組織の設立を支援し、その組織を担う人材育成が目的。NPOの支援基盤を整備するとともに、人材の育成や市民活動支援を行う。

名取市は、平成 18 年に名取市市民活動支援センターを設置しが、東日本大震災による被害で施設が使用できなくなったため、市民活動支援も休止状態が続いていた。その後、平成 24 年秋に仮設のセンターを設置して市民活動支援を再開。現在、平成 27 年 4 月にオープン予定の新センターの建設工事が進んでいる。

① 名取市内の市民活動状況の情報収集

i) 市民活動団体調査

名取市内で活動する市民活動団体の支援ニーズを把握するため、「名取市市民活動団体アンケート」を実施した。市内で活動する 68 団体に調査票を郵送し、平成 25 年 8 月 13 日～26 日に回答を受け付けた。

その結果、14 団体からの回答があり、会議室や印刷機などの施設設備の貸し出しのほか、助成金やイベント情報などの情報提供が期待されていることが分かった。

ii) 市民活動団体ヒアリング

市民活動支援センターで支援事業を開始した案内や市内団体の活動状況を把握するため、5 月 31 日～8 月 23 日に市内の市民活動団体など 10 団体を訪ね、活動状況をヒアリングした。

訪問先：名取市商工会、名取市社会福祉協議会復興支援センターひより、仙台傾聴の会、関上復興だより実行委員会、NPO 法人子育て応援団ひよこ、産直ネットワークなとり、関上太鼓保存会、オイルプラント名取、名取商工会青年部、尚綱学院大学

iii) 名取市市民活動団体情報交換会

今後の名取市内の市民活動支援内容や仕組みづくりを検討するにあたり、名取市内で活動する市民活動団体と、市民活動団体が求める市民活動支援について意見や情報を交換した。

日 時	8 月 30 日（金） 14：30～17：00
会 場	名取市市民活動支援センター会議室 1
参加者数	19 団体 22 名

② NPO 中間支援組織づくりの検討および立ち上げ支援

名取市の市民活動支援を担う NPO 中間支援組織の立ち上げに向けて、検討会実施や勉強会の講師を派遣すなどのサポートを行い、3 月に NPO 法人パートナーシップなとりが設立された。

杜の伝言板ゆるるから大久保朝江が理事として参画している。

③ 職員の採用と育成

名取市の市民活動支援を担う職員 3 名を募集、10 月 1 日付けで採用し、支援業務が担えるよう座学研修および、ゆるる法人事務局やみやぎ NPO プラザで OJT 研修を順次行い、現在も継続している。

④ 名取市での支援拠点の整備

11 月に、センターの一室をゆるる名取事業所として開設した。支援拠点には、名取市の支援業務を担うスタッフのほか、みやぎNPOプラザで支援業務の経験のあるスタッフを 1 名配置し、名取市の市民活動支援にあたっている。

⑤ 支援活動実施

i) 情報収集と発信

「名取市市民活動支援センターblog」での情報発信

講座や専門相談会の開催情報、職員募集情報、名取市市民活動支援センターの状況などを随時掲載した。

「名取市市民活動支援センターだより」の発行

- ・発行日：1/15、3/15 ・発行部数：1,000 部
- ・仕様：A3 二つ折り（印刷用紙：薄いクリーム色 刷色：紺色）
- ・内容：名取市内の市民活動団体の紹介、NPOのお役立ち情報、講座や相談会などの開催情報など

※主な配布先：名取市、名取市内のNPO法人、市民活動団体、名取市公共施設、宮城県内の市民活動支援施設、仙台市内ボランティアセンターなど

ii) 専門相談会

市民活動団体の設立や運営をサポートするため、センターを会場に専門家による専門相談会を開催した。

開催日	相談会名	相談員	対応件数
11月28日(木)	法人設立団体運営相談会	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	3
12月20日(金)	会計相談会	平野由紀子氏 税理士	3
1月30日(木)	設立運営相談会	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	2
2月28日(木)	会計税務相談会	成田由加里氏 公認会計士、税理士	2

⑥ マネジメントおよび会計講座

市民活動団体の設立や運営に役立つテーマの

講座名	講師	日時	参加者数
「正しく理解！ お金の管理の仕組み」	成田由加里氏 公認会計士、税理士	12月9日(月) 13:30～15:30	18
ボランティア団体のための 「ITを活用した情報発信初級講座」	山田泰久氏 日本財団 CANPAN マネージャー	2月12日(水) 13:30～15:30	9

(3) 名取市市民活動運営支援業務

名取市の市民活動がさらに発展するように、市民活動の運営を支援する。専門家を招いての講座や相談会を開催したほか、名取市市民活動支援基盤整備事業委託でセンターにゆるる事務所を開設する前の5月～10月末までを中心に、スタッフによるなんでも相談会を実施した。

① 市民活動に役立つ講座の開催

講座名	講師	日時	参加者数
「その気にさせる企画書の書き方」	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	6月12日(水) 13:30～16:30	13
「活動が伝わるパンフレットを作るコツ」	真山正太氏(一般社団法人メディアデザイン理事)	7月8日(月) 13:30～16:30	21
「受けて納得! NPO基礎講座～はじめてのNPO～」	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	2月27日(木) 13:30～5:30	10

② 名取市協働事業説明会への派遣

名取市が実施している名取市協働提案事業の応募団体や担当職員にアドバイスするため、アドバイザーを派遣した。

日 時 8月23日(金) 13:00～17:00

派遣者 大久保朝江(NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事・みやぎNPOプラザ館長)

③ 市民活動の相談の実施

i) 専門相談

開催日	相談会名	相談員	対応件数
6月20日(木)	設立運営助成申請相談会	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	4
3月6日(木)	団体設立運営相談会	大久保朝江 NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事	1

④ NPOなんでも相談会の実施

NPO支援にあたるゆるる職員が名取市市民活動支援センターにてNPOや市市民活動に関わる相談に対応した。

期間：6月～2月

相談日数：12日

相談対応団体数：延べ15団体 23名

9. NPO等連携事業

(1) SAVE JAPANプロジェクト

SAVE JAPANプロジェクトは、株式会社損害保険ジャパンと日本興亜損保株式会社からの協賛を受け、NPO法人日本NPOセンターと全国のNPO支援センター、環境NPOが各地で希少生物の保護活動を行うプロジェクトである。

杜の伝言板ゆるるは昨年度に引き続き、本プロジェクトに参加することとなった。今年度は、任意団体蒲生を守る会とともに蒲生干潟の自然観察会および仙台湾の海岸林見学バスツアーを実施した。

共催：蒲生を守る会、NPO法人日本NPOセンター

協賛：株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損保株式会社

① 蒲生干潟の自然観察会

東日本大震災の津波によって、仙台市宮城野区蒲生にある蒲生干潟は、干潟部分が減少し干潟由来の生態系が一時的に壊滅するなどの大きな被害を被った。蒲生を守る会は、震災前から蒲生干潟の生態系の維持を目的に、定期的な調査および一般市民を啓発するための観察会を開いていたが、震災以後観察会は中止されていた。

今回、SAVE JAPAN プログラムに参加することで、震災後初となる観察会を開催することができ、震災から 2 年半が経過し回復状況にある蒲生干潟の姿を一般市民に見てもらうことができた。

開催日：8 月 4 日（日） 9：00～12：00

場所：仙台市宮城野区蒲生干潟

参加者数：112 名

② 仙台湾の自然観察バスツアー

本プログラムでは、蒲生干潟のみならず、蒲生干潟～岩沼市に至る仙台湾の海岸部を一般参加者とともにバスで回った。参加者には震災からの回復状況を見てもらうとともに、建設中の防潮堤が作られることによる海岸部の生態系への影響を考えてもらった。

開催日：9 月 29 日（日）8：30～13：00

場所：仙台市宮城野区から岩沼市に至る沿岸部各地

参加者数：30 名

（2）WAM 助成セミナー開催

独立行政法人福祉医療機構（WAM）から、WAM が平成 25 年度に実施する助成制度を宮城県内の NPO へ説明する「平成 25 年度 WAM 助成セミナー in 仙台」の運営を委託。

催事名：平成 25 年度 WAM 助成セミナー in 仙台

日時：平成 25 年 10 月 17 日（木）13:00～16:50

場所：TKP ガーデンシティ仙台 ホール B-2

参加者数：76 名

主催：独立行政法人福祉医療機構

運営：NPO 法人杜の伝言板ゆるる

（3）NPO/NGO の組織基盤強化のためのワークショップ

NPO 法人日本 NPO センターからの委託を受け、東北の NPO、NGO に組織基盤強化の重要性を認識するワークショップ及び子ども分野・環境分野の NPO/NGO へ組織基盤強化のための助成を行っている「Panasonic NPO サポート ファンド」の説明会を開催。

催事名：NPO/NGO の組織基盤強化のためのワークショップ in 仙台

日時：平成 26 年 5 月 30 日（金）13:30～17:00

場所：みやぎ NPO プラザ 交流サロン

参加者数：46 名

主催：NPO 法人杜の伝言板ゆるる

共催：NPO 法人日本 NPO センター、パナソニック株式会社

(4) みやぎ NPO 情報公開システム運用協議会事務局業務

宮城県内の NPO 情報を、市域を超えて一元的に検索・登録することができる「みやぎ情報公開システム」を構築するため、昨年度、仙台市、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、杜の伝言板ゆるるの 3 者が協力し協議会を設立。県内の NPO のデータベースを構成団体で活用する web システム「みやぎ NPO ナビ」を構築。

昨年度に引き続き、杜の伝言板ゆるるが協議会の事務局を担い、システムの管理のほか、運営委員会を開催した。

構成団体：仙台市、気仙沼市、栗原市、登米市、石巻市、大崎市、名取市
NPO 法人杜の伝言板ゆるる、NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター、
NPO 法人いしのまき NPO センターシステム

運用協議会の運営会議を開催：平成 25 年 10 月 11 日 会場：みやぎ NPO プラザ
平成 26 年 5 月 20 日 会場：みやぎ NPO プラザ

(5) プロジェクター寄贈支援

平成 25 年 10 月に株式会社リクルートホールディングスから中古プロジェクター100 台を県内の NPO へ寄贈するにあたっての協力依頼があった。

当法人は、11 月から平成 26 年 1 月にかけて、県下の NPO に知らせ、89 団体の NPO へ合計 96 台のプロジェクターを配布した。

10. 交流事業

(1) 東北六県 NPO 支援センター情報交換会

平成 25 年度もみやぎ NPO プラザと共催で、東北 6 県と宮城県内の NPO 支援センターのスタッフに向けた研修と、東北 6 県の間支援組織のリーダーに要る情報交換会を開催した。

① 東北 NPO 支援センター初任者スタッフ研修及びリーダー情報交換会

開催日：2013/6/24（月）～6/25（火）

場所：東北自治総合研修センター

参加者：39 名

初任者研修の講師：三澤章氏（NPO 法人あおもり NPO サポートセンター事務局長）

紅邑晶子氏（NPO 法人せんだい・みやぎ NPO センター代表理事）

小川真美氏（NPO せんだい・みやぎ NPO センター事務局次長）

大久保朝江（NPO 法人杜の伝言板ゆるる代表理事）

② 東北 6 県 NPO 法人情報交換会

開催日時：平成 25 年 12 月 22 日（日）～12 月 23 日（月・祝）

会 場：秋田県森林交流学習館 プラザクリプトン

報告内容：全国の NPO 支援情報の提供

トークセッション「いま、NPO が果たす役割について」

11. その他の支援事業

(1) NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売

NPO の基盤整備に関する書籍類の紹介及び販売を継続的に実施し、情報提供と活動支援を行った。

冊子名	発行者（団体）	内容
NPO 会計基準完全収録版第 2 版	NPO 法人会計基準協議会	NPO 法人会計基準及びガイドライン、Q & A を掲載。一部改正の項目、それに伴う様式例の変更、《Q&A》の記述の変更などを記載し、所轄庁の「手引き」との相違点を説明した《Q&A》50-1 も新しく追加。
会計基準ハンドブック	NPO 法人会計基準協議会	N P O 法人会計基準を分かりやすく解説したもの
知っておきたい NPO のこと「基礎編」	NPO 法人日本 NPO センター	平成 24 年 4 月の NPO 法改正に合わせ、これまでの「知っておきたい NPO のこと【増補版】」をリニューアルし、タイトルも「基本編」に変更。「信頼される NPO の 7 つの条件」と、W e b サイト NPO 広場で公開中の「NPO 基礎知識 Q & A」を再編集し、掲載。
知っておきたい NPO のこと「協働編」	NPO 法人日本 NPO センター	「行政と協働する NPO の姿勢」「NPO と協働する行政職員の姿勢」をそれぞれの視点から掲載。
NPO 法人のための業務チェックリスト	NPO 会計・税務専門家ネットワーク	理事・監事の基礎知識から監査報告書の作成例と参考事例まで掲載。
会計日誌	NPO 支援東京会議	日々の出納と領収書の管理ができる
会計ソフト「会計王」NPO 法人スタイル	(株) ソリマチ	N P O 法人会計基準に沿った会計ソフト

(2) 講師等の派遣

行政や NPO、社会福祉協議会等からの依頼により、ボランティアや市民活動、NPO 等に関する講演や研修などの講師を派遣した。

月日	派遣先
6 月 5 日	いきいき学園仙南校講演
6 月 27 日	加美町市民活動基礎講座
8 月 29 日	宮城県 新しい公共支援事業 補助事業報告
9 月 22 日	非営利法人研究学会第 17 回全国大会 特別セッション
10 月 8 日	加美町市民活動スタートアップ講座①
10 月 17 日	WAM助成セミナー i n 仙台 基調講演
10 月 22 日	加美町市民活動スタートアップ講座②
11 月 7 日	秋田県鹿角市 鹿角地域 NPO 法人支援セミナー
11 月 8 日	福島県南相馬市 市民活動支援講座
11 月 9 日	加美町市民活動スタートアップ講座③
11 月 18 日	秋田県北秋田振興局 NPO 支援センター研修
11 月 19 日	加美町市民活動スタートアップ講座④
11 月 28 日	名取高校定時制 講演：ボランティア活動から N P O へ
12 月 14 日	加美町市民活動スタートアップ講座⑥
12 月 18 日	気仙沼市 NPO 法人ネットワークオレンジ 得る講座
12 月 26 日	災害コミュニケーションシンポジウム 発表
2 月 17 日	パブリックリソース財団 組織診断フォーラム
3 月 15～16 日	日本 N P O 学会 パネル討論
3 月 29 日	J C N 全体ミーティング 報告及びパネラー

■とめ市民活動プラザのNPO運営相談会(登米市)

6/19 7/25 8/28 9/25 10/29 11/21 12/20 1/23 2/20 3/19 4/23

(3) ヒアリング

6月25日 NPO 法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク 根本氏

8月26日 真如苑 島田氏 来訪 (3/27)

9月2日 JKA 菊地氏 来訪

11月1日 (株)リクルートホールディングス 守富氏
立正大学 原田峻氏

11月19日 日本政策金融公庫 小針氏 来訪

4月24日 東北大学大学院経済学研究科 菊地氏

Ⅲ 組織運営に関する事項

1. 総会の開催

平成 24 年度通常総会を開催

開催日時：平成 25 年 7 月 20 日（土）13:00-14:30

場所：みやぎ NPO プラザ第 1 会議室

議案：第 1 号議案 平成 24 年度事業報告及び決算の承認

第 2 号議案 平成 25 年度事業計画（案）及び予算（案）の審議及び議決

第 3 号議案 定款の変更の審議及び議決

2. 理事会の開催

毎月開催（年 12 回開催）

開催日：第 105 回	5 月 1 4 日	みやぎ NPO プラザ	第 2 会議室
第 106 回	6 月 4 日	みやぎ NPO プラザ	研修室
第 107 回	7 月 1 日	みやぎ NPO プラザ	法人事務所
第 108 回	8 月 2 9 日	みやぎ NPO プラザ	
第 109 回	9 月 1 9 日	みやぎ NPO プラザ	
第 110 回	1 0 月 1 4 日	みやぎ NPO プラザ	法人事務所
第 111 回	1 1 月 2 0 日	みやぎ NPO プラザ	
第 112 回	1 2 月 2 5 日	みやぎ NPO プラザ	仙台市情報・産業プラザ
第 113 回	1 月 2 2 日	みやぎ NPO プラザ	第 2 会議室
第 114 回	3 月 1 1 日	みやぎ NPO プラザ	研修室
第 115 回	4 月 2 2 日	みやぎ NPO プラザ	研修室
第 116 回	5 月 1 4 日	みやぎ NPO プラザ	第 2 会議室

3. 会議

（1）事務局スタッフ及びみやぎ NPO プラザスタッフ合同ミーティング

毎月第 1 月曜日に開催（年始・連休時を除く）し、今年度は全 12 回開催。

開催日：6 月 3 日、7 月 1 日、8 月 5 日、9 月 2 日、10 月 7 日、11 月 4 日、
12 月 2 日、1 月 6 日、2 月 3 日、3 月 3 日、4 月 7 日、5 月 12 日

（2）編集会議

『月刊杜の伝言板ゆるる』の掲載内容を決めるために開催。今年度は全 12 回開催。

開催日：5 月 30 日（7 月号）、6 月 13 日（8 月号）、8 月 1 日（9 月号）、9 月 2 日（10 月号）、10 月 1 日（11 月号）、11 月 1 日（12 月号）、12 月 4 日（1・2 月号）、2 月 3 日（3 月号）、3 月 3 日（4 月号）、3 月 20 日（5 月号）、4 月 22 日（6 月号）

（3）事務局会議

合同ミーティング前や事業ごとなど、個別に随時実施。

(4) プラザ運營業務主任打合せ

検討事項が発生した時点で随時実施。

4. 会員

正 会 員 52 団体・個人

賛助会員 79 団体・個人 (平成 26 年 5 月 31 日現在)

また、会員に対しては預かった団体チラシなどを毎月発行する情報誌『月刊杜の伝言板ゆるる』とともに発送し、情報発信面での支援を行った。

会員への情報発信支援件数： 4 件 (年間)

5. 事務局員体制

(1) 杜の伝言板ゆるる事務局 (宮城野区榴岡 3-11-6)

代表理事・事務局長：大久保朝江 (H26. 4. 1～)

事務局長：1 名 (～H26. 3. 31)

常勤職員：3 名

非常勤職員：1 名 (H25. 11～H26. 3)

(2) みやぎ NPO プラザ勤務 (宮城野区榴ヶ岡 5)

館 長：1 名 (H26. 4～)

常勤職員：7 名

非常勤職員：2 名

(3) 名取市市民活動支援センター勤務 (名取市大手町 5-6-1)

常勤職員：3 名 (H. 25. 10～)

6. 職員研修

(1) 職員研修

職員のスキルアップのため、必要な研修に参加した。研修で学んだ内容についてはスタッフミーティング時に報告するなど、他スタッフと共有した。

研修日	研修名	主催団体	参加数
6 月 3 日	杜の伝言板ゆるる理事・スタッフ研修「NPO 中間支援組織が寄付や会員を集めるためには」	杜の伝言板ゆるる	12 名
6 月 10 日 ～15 日	市民活動 (NPO) 育成強化プロジェクト 実践プロジェクト インターンシップ	日本 NPO センター	1 名
6 月 28 日、 29 日	NPO 支援センター初任者研修 2013	日本 NPO センター	2 名
7 月 29 日、 30 日	ボランティア活動支援業務担当者 (ボランティアコーディネーター) 研修	宮城県社会福祉協議会	2 名
9 月 11 日	記者が明かすマスコミの使い方 10 カ条 ～伝わる取材依頼を書こう！～	宮城県	1 名
10 月 1 日	女性リーダー ワールド・カフェ・ホスト養成講座	せんだい男女共同財団	1 名

10月25日	NPOが融資を受けるためには	宮城県	1名
12月3日	相談業務に活かす！認定NPO法人制度と申請手続き	宮城県	2名
12月11日、 12日	甲種防火管理新規講習	仙台市消防局予防部予防課	1名
12月17日	第1回市民活動団体が知っておきたい「条例を学ぶ」勉強会	せんだい・みやぎNPOセンター	1名
1月27日	NPOの組織診断及び運営サポートの構築事業 人材育成研修	杜の伝言板ゆるる	2名
1月23日、 24日	NPO支援力応援プログラム 第1回	日本NPOセンター	1名
2月8日	NPOの組織診断及び運営サポートの構築事業 人材育成研修	杜の伝言板ゆるる	2名
2月13日	めざせ！助成金申請アドバイザー	宮城県	1名
2月23日	NPOの組織診断及び運営サポートの構築事業 人材育成研修	杜の伝言板ゆるる	2名
3月7日	NPOの組織診断及び運営サポートの構築事業 人材育成研修	杜の伝言板ゆるる	2名
3月25日	NPO支援力応援プログラム 第2回	日本NPOセンター	1名
4月23日	せんだい・みやぎNPOセンタースタッフ研修	せんだい・みやぎNPOセンター	2名
5月20日	救命救急講習	宮城県文化財保護課分室	6名

7. ボランティア

ゆるる事務局、みやぎNPOプラザにて12人のボランティアを受け入れ、435時間の協力を得た。総時間数は昨年度の288.85時間に比べ約1.5倍に増えた。

下表内の数字の単位は時間

事務局※	みやぎNPOプラザ プランターケア	みやぎNPO情報ネット 入力	月刊ゆるる発送
201	56	100.5	77.5

総時間数：435時間

※事務局では、月刊ゆるるの校正、新聞スクラップ、アンケート入力などの事務作業を手伝ってもらった。

8. 他団体との連携や協働の推進

(1) 会員として連携

- ① NPO法人ICT支援NPOネットワーク宮城
- ② NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク(9/7総会)
- ③ NPO法人会計基準協議会
- ④ NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- ⑤ NPO法人日本NPOセンター
- ⑥ 東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)

(2) 審議会・委員会等の委員

行政や民間の審議会や委員会、評議会などの委員として、市民活動・NPOの立場から提言を行った。

- ①国 : 内閣府共助社会づくり懇談会 (7/17、8/19、8/29、8/30 9/24、10/9、
11/15、12/24、4/3、5/15 : 大久保)
経済財政諮問会議集中点検会合へ有識者として出席(8/30 : 大久保)
東北行政評価局懇談会 (3/7 : 大久保)
- ②宮城県 : 宮城県防災会議 (2/5 : 大久保)
新しい公共支援事業運営委員会 (7/9 8/29)
宮城県民間非営利活動促進委員会 (H25. 11 まで)
- ③その他 : 宮城県中商工連合会助成金審査会 (2/28
(公財)せんだい男女共同参画財団理事会 (11/11、3/18、5/27 : 大久保)
(公財)仙台国際交流協会評議会 (6/11)
認定NPO法人日本NPOセンター評議員 (10/24 5/9)

(3) 助成金等審査員

行政や民間の助成や補助事業に審査員を派遣し、支援組織としての視点から審査に加わった。

- JK A助成金審査会 (12/5)
タケダ・いのちとくらし再生プログラム助成運営委員会 (12/12)
タケダ・いのちとくらし再生プログラム助成審査会 (8/6、2/6、2/7)
タケダ・いのちとくらし再生プログラム中間報告会 (10/28、11/25、4/25、5/16)
(公財)仙台国際交流協会助成審査会 (6/11、9/10、3/10)
(一財)愛知揆一福祉振興会 みやぎ社会貢献大賞審査会 (12/6)
かほく「108」ファンド審査会 (5/13)
加美町町民提案型まちづくり事業審査会 (7/26、5/10)

(4) 多様な団体と連携した活動

① NPO法人会計基準協議会への参画

当法人は世話団体及び幹事団体として、会計基準の普及に取り組んでいる。

- タスクフォースミーティング (6/14、7/10 8/14)
臨時総会 (8/30 11/29)
世話団体会 (8/23、4/18)
2014 年度総会 (6/13)

② 日本NPOセンター関連

- ・ NPO/NGO 連絡会 (6/26)
- ・ 民間 NPO 支援センター・将来を展望する会 (CEO会議) 出席
8/22~23 11/29 4/17~18
- ・ 労務に関するミーティング (10/1)

③ 2015 防災世界会議日本CSOネットワーク

2015 年 3 月に仙台で開催される国連防災世界会議へNPO連携事業への協力のため、

幹事団体として参画（1/10 2/24）

④ 杜の子まつり推進実行委員会への参加

特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場を助成団体とする『支援の輪をつなぐ子育て応援まつり開催事業』に実行委員として協力

会議日：8/27 10/2 10/14 1/8 2/9

（５）名義後援

NPO が催事を開催する際、名義後援を希望した団体に許可した。

- ・ 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
災害復興支援ボランティアシンポジウム(10/19)
第 16 回ボランティアフォーラム（2/11）
- ・ 大國神社の山野草を守る会 第 9 回かたくり祭(4/8)

9. 組織の広報及び理解促進

（１）ホームページ等の運用

杜の伝言板ゆるるのホームページ (<http://www.yururu.com/>) ・ ブログ

(<http://blog.canpan.info/yururu>) を活用し、組織の情報公開を進めた。

ホームページ／お知らせ 30 件				事務局ブログ 30 件			
月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
6 月	1	12 月	7	6 月	0	12 月	2
7 月	4	1 月	4	7 月	6	1 月	4
8 月	3	2 月	0	8 月	2	2 月	3
9 月	3	3 月	2	9 月	4	3 月	2
10 月	4	4 月	1	10 月	4	4 月	2
11 月	0	5 月	1	11 月	1	5 月	0

（２）ゆるる通信の発行

杜の伝言板ゆるるの法人全体の活動を伝える「ゆるる通信」を隔月で発行。職員のみならず、理事の「顔」の見える媒体としている。

発行日：8 月 1 日、10 月 1 日、12 月 1 日、2 月 1 日、4 月 1 日、6 月 1 日

発送先：正会員・賛助会員・月刊ゆるる発送先

掲載内容

8 月号	理事コラム	第 11 回通常総会をおえて＜大久保朝江＞
	記事	東北 NPO 支援センターから初任者研修開催～、今年で 11 回目を迎えました！～夏ボラ事前学習会開催！～、ゆるる初代パンフレット～「縁の下の力持ち。」完成！～、講演会「楽しい寄付の集め方」から京都における成功事例より～
10 月号	理事コラム	偏愛マップのススメ＜高浦康有＞
	記事	SAVE JAPAN プロジェクト 2013～蒲生干潟で生き物観察会開催～、『名取市市民活動情報交換会』開催～名取市市民活動基盤整備事業～、東日本再生ユースチャレンジ・プログラムからインターン生、活躍中！～、新しい職員を紹介します！～みやぎ NPO プラザ～
12 月号	理事コラム	親の立ち位置＜猪狩慎一＞

	記事	みやぎ NPO プラザ 新プログラム、始動中！、会計サポーター研修を実施 ―NPO 向け会計ソフト「会計王」講座―、名取市市民活動支援センターにゆるる名取事務所 OPEN！、創刊 200 号の節目に月刊杜の伝言井田ゆるるを考える！
2 月号	理事コラム	新しい年を迎えてく大久保朝江>
	記事	ボランティアさんに感謝を伝える！～ボランティア納会開催～、「活動計算書」の作成を応援します！～会計サポーター派遣事業～、創刊 200 号記念対談を終えて、NPO 支援の方向性を探る 宮城県 NPO 活動実態・意向調査、インターン生として夏ボラに関わって！
4 月号	理事コラム	市民活動の時代<藤田佐和子>
	記事	市民活動の種まき～みやぎ NPO プラザ「NPO 夜学」～！、認定 NPO 法人化支援事業実施、スタッフ人材育成研修 NPO の組織診断に向けて、名取市市民活動支援センター事業、いよいよ本格稼働！、みやぎ NPO プラザ館長が交代
6 月号	理事コラム	ビジネス支援と NPO 支援<波多野卓司>
	記事	NPO のための組織診断始めました！、夏ボラ、今年も始まります-NPO で高校生の夏ボラ体験 2014―、名取の中間支援組織立ち上げ支援、新職員紹介

(3) メディアでの広報

今年度は月刊ゆるる創刊 200 号にまつわる記事や発行した震災記録冊子に関する記事の掲載があった。また、講座や催事を開催するにあたっては、新聞社を中心にプレスリリースを流し、広報への協力を依頼した。

記事掲載

日付	媒体	内容
7/ー	NPO のひろば no.68	「SAVE JAPAN プロジェクト 2013」始動しました！ 2012 年度ゆるる事例掲載
11/20	河北夕刊	「認定 NPO」狙う動き拡大 10/31 開催「認定 NPO 法人制度を知る講座」記事掲載
1/22	河北夕刊	市民活動に寄り添い 200 号 月刊ゆるる 200 号発行記事掲載
1/31	河北夕刊	NPO 情報室 月刊ゆるる 200 号発行記事掲載
2/7	河北朝刊	市民メディア役割議論 月刊ゆるる創刊 200 号記念事業記事掲載
4/6	河北朝刊	被災 NPO の奮闘紹介 『3.11NPO の記録』発行記事掲載
5/3	毎日朝刊	震災後の NPO 奮闘 冊子に 『3.11NPO の記録』発行記事掲載
5/24	河北夕刊	奮闘伝えるサポーター／杜の伝言板ゆるるスタッフ村上千恵さん 杜の伝言板ゆるるスタッフ取材記事
日付	媒体	内容
6/6	河北夕刊	市民活動講座「その気にさせる企画書の書き方」(6/12 名取市主催)告知
6/9	河北朝刊	市民活動講座「その気にさせる企画書の書き方」(6/12 名取市主催)告知
6/15	河北朝刊	50 歳からの NPO 実践塾(6/22、29 宮城県主催)告知
7/5	河北朝刊	市民活動講座「活動が伝わるパンフレットを作るコツ」(7/8 名取市主催)告知

7/17	河北夕刊	楽しい寄付の集め方～京都における成功事例より（7/20 杜の伝言板ゆるる主催）告知
8/21	河北朝刊	名取「NPO よろず相談会」（8/23 名取市主催）告知
8/21	河北夕刊	名取「NPO よろず相談会」（8/23 名取市主催）告知
8/23	河北夕刊	名取市市民活動団体情報交換会～名取の市民活動のあしたの姿、いっしょに考えてみましょう！（8/30 名取市主催）告知
8/28	河北朝刊	名取市市民活動団体情報交換会～名取の市民活動のあしたの姿、いっしょに考えてみましょう！（8/30 名取市主催）告知
9/12	河北夕刊	SAVE JAPAN プロジェクト「生き残った海岸の自然と生物の観察ツアー」（9/29 杜の伝言板ゆるる主催）告知
9/16	河北朝刊	SAVE JAPAN プロジェクト「生き残った海岸の自然と生物の観察ツアー」（9/29 杜の伝言板ゆるる主催）告知
9/17	河北朝刊	名取「NPO よろず相談会」（9/19 名取市主催）告知
9/17	河北夕刊	名取「NPO よろず相談会」（9/19 名取市主催）告知
10/16	河北朝刊	NPO のための会計サポーター養成講座（10/23 宮城県主催）告知
10/16	河北夕刊	NPO のための会計サポーター養成講座（10/23 宮城県主催）告知
11/15	河北朝刊	NPO 法人会計基準講座入門編・実践編（11/18、21 宮城県主催）告知
11/15	河北朝刊	NPO のための会計・税務相談（11/21 宮城県主催）告知
11/26	河北夕刊	NPO 法人会計基準講座・実務編（12/3 宮城県主催）告知
11/30	河北朝刊	NPO 法人会計基準講座・実務編（12/3 宮城県主催）告知
12/1	河北朝刊	NPO のための専門相談（12/12 宮城県主催）告知
2/10	河北朝刊	県震災復興担い手 NPO 等支援事業（2/12 宮城県主催）告知
2/10	河北朝刊	達人に聞く！ NPO のための IT を活用した情報発信講座（2/13 宮城県主催）告知
4/26	河北朝刊	ボランティア活動お役立ち無料相談会（5/23 名取市主催）告知
5/17	河北夕刊	ボランティア活動お役立ち無料相談会（5/23 名取市主催）告知

寄稿掲載

① 月刊誌「ウォロ」へ寄稿 発行：(社福)大阪ボランティア協会

平成 25 年 7・8 月号 東日本大震災－宮城から「信頼が復興を加速する」

平成 26 年 1 月号 東日本大震災－宮城から「遅々として進まない、しかし進んでる」

② 新聞研究別冊「新聞の公共性と知識課税」 発行：日本新聞協会

「地域コミュニティとメディアの役割～欠かすことができない空気のような存在」